

今年もあと1カ月と少しになりました。今年暑い日が長く続き、秋を感じる日が少なかったように思います。このところ気温も下がり、一気に冬らしくなってきましたね。期末考査も目前、出来るだけ良い成績を取って1年を気持ちよく締めくくりましょう。

『チーム王総』で、みんなで支え合い、高みを目指し、伸びていく集団に！

早いもので11月も下旬となりました。3年次生は、総合型や公募推薦にチャレンジしていたり、指定校推薦入試が終わって結果を待っている生徒がいます。一般選抜に向けひたむきに学習に取り組んでいる生徒もいます。また、部活動では、新人戦が始まっているところが多いかと思えます。



ここで、『チーム王総』という言葉について考えてみましょう。高校は、クラス、年次、授業、部活動、委員会、生徒会、そして学校と、いろんな集団の中で活動しています。その中で、部活動を例にすると、「●●大会優勝！」や「ベスト●！」、「●●大会出場！」などの目標がある場合、達成するために、その目標に向かって努力し、切磋琢磨し、励まし支え合う、「高みを目指し伸びる集団」となっていると思います。高みを目指すことで成長し、目標にも近づくことができます。また、不安や失敗があっても励まし支え合うことができます。仲間と一緒にだから、共に力強く前に進むことができます。

これは、勉強や受験でも言えることだと思います。「第一志望合格に向け頑張ろう！」、「みんなで勉強頑張ろう！」という前向き集団なら、全体で伸びて行けます。逆に、後ろ向きで、みんなで足を引っ張り合えば、伸びていくことはできません。雰囲気・環境の力は大きいし、大切です。勉強でも、「みんなで●●得意になっちゃおう！」とか、友達と問題に対して議論したり教え合ったりすれば、学びが深まったり、アウトプットの練習にもなります。みんなで学力アップ出来ればと思います。

3年次生は、一般選抜の受験カレンダーを作成している頃ではないでしょうか？よく言われることですが、「現役生は最後まで伸びる」、「最後まであきらめない！」こういったことも意識して、受験校リストを作りましょう。出願間際になって慌てて作っても焦るだけですし、今のうちに志望校調べをしてきちんとしておくことが大切です。その際、必ず家の人と相談してください。受験でお金がかかるのは当然ですが、入学してからのことまでよく話し合ってください。進路決定は自分ひとりでするものではありません。いつも支えてくれている家族への感謝の気持ちを忘れずに試験に臨んでいきましょう。受験当日は自分がやるしかない『個人戦』かもしれませんが、それに至るまでの受験勉強は『団体戦』！（仲間も学校も家族も支えてくれる人も！）。もし苦しい時があっても、進路決定のその時まで、みんなで支え合い乗り切りましょう！また、高校最後の考査である12月の期末考査にも、高校の学習の集大成として、受験の基盤となる学力として、しっかりと取り組んでください。

2年次生は、修学旅行での経験を今後大いに活かし、期末考査、そして「受験生になるスタートライン」に立ってください。『2年生の3学期＝受験生0学期』といわれたりもします。みんなの1年後を想像しながら、3年生の動きを把握しておきましょう。

ベネッセの調査によると、『第一志望校に合格していった生徒の特徴として「学習」の観点で最も当てはまるもの』をみたとき、その上位2つは、

- ①『学習習慣』…模試の結果は厳しくても日々の学習には前向きに取り組んでいた
- ②『基礎学力』…応用問題に苦戦していても基礎的な内容はしっかりと身につけていた

でした。第一志望校合格のために、3年次生になって忙しい状況になっても、成績を伸ばすために、『基礎学力』を身に付け、継続的に学習に取り組むこと、模試の判定で一喜一憂せず、最後までコツコツとあきらめずに目標に向かって努力をすること、間違えた問題にしっかりと向き合い、理解を深めヌケモレをなくすこと（やりっぱなしにしない、疑問をそのままにしない、復習や直しの大切さ）、そして生活習慣の安定を心掛けていきましょう。

これは1年次生にとっても大切なことです。「共に頑張る仲間がいる。」みなさん一人ひとりが、その「雰囲気・環境」をつくる一員です。このことを意識し、『チーム王総』でそれぞれの夢を実現していきましょう！



📌 入試スケジュール作成に『蛍雪時代』を！ 3年次

11月臨時増刊号の特集は、「一般選抜ガイド」です。入試日や入試科目、配点、初年度納入金など、入試スケジュール作成に役立つデータが沢山あります。主な内容はかきのとおり、手に取って確認を！

【新課程入試ヘラストスパート！理想の受験プランを組み立てよう！】

Part 1 一般選抜 最終ガイダンス・・・一般選抜合格のための併願プランニング

・国公立大／私立大 合格最低点 等

Part 2 駿台&河合塾 2024年入試 偏差値・難易度一覧

Part 3 2025年入試ガイド [一般選抜]・・・国公立大学・私立大学／専門職大学／通信教育課程 等

Part 4 データ編 ・入試科目・配点一覧、2024年入試結果、2025年度学費早見表

別冊の「入試日程カレンダー」には、1月から3月までの学部系統別の入試日が記載されています。3月中旬でも都内に受験できる大学があることがわかります。ぜひ、役立ててください。



📌 手抜きをしない(自分の人生に対して手抜きをしない)

2学期の期末考査は来週火曜日、12月3日から始まります。あと1週間となりました。テスト勉強に力を入れていますか？

定期テスト対策に要領のいい・悪いなどは何の関係ありません。きちんと向かい合って、一生懸命やってみたかどうかすべてです。「ずいぶん準備したけど忘れてしまった」とか「重要でないところに時間をかけすぎた」とか「自分の考えていた出題の仕方と違っていた」など、様々な失敗(?)を経験した人もいないでしょうか。さて、大切なのはここからです。**まじめに一生懸命準備をしてみた人は「ここはこのくらいいいのか」「この部分は勉強不足だった」「やり方がよくないかも」というように、自分の失敗や成功から多くのことを学びます。**逆に真剣に準備をしなかった生徒は、テストの感触を充分につかむことが出来ません。特に、「どれだけやればどんな結果が出るのか」という自分自身の必要量の見通しがつけれないのです。定期テストそのものは勉強していれば点が取れる問題を出題しているわけですから、**結果が出せずにいつまでも苦勞しているのは、言い方を変えれば、「一度も真剣にやってみたことが無い」ということです。**もちろん、学校でもテスト勉強の応援はしますが、まず自分自身が真剣にやらないことには何も始まりません。学力や成績に不安があるかないか。それは大学進学に直結するだけでなく、3年間の高校生活そのものの楽しさや充実度にとっても大きく影響します。だから、勉強では決して手抜きをしないようにしましょう。

しっかりと学力をつけ、いい成績をとるために、特別な秘策や超人的な努力が必要なわけではないのです。「宿題は必ずやる」「テスト前は真剣に準備する」といった単純で当たり前のことをしっかり守っていれば、必ずいい展開が待っています。

ぜひ実行してください。

📌 提出物の「あと出し」について

試験終了と同時に、ノートやファイルの提出をする科目は多いですね。先生方は「**普段からきちんと学習に取り組んでいるか、テスト勉強をしているか**」ということが気になり、それを確認するために、また平常点に加えるために集めるわけですが、ちょっと気になることがあります。それは、「**あと出し**」です。テストが終わってから、問題集やプリント、ノートに慌てて記入をして提出している人がいるようです。

なかには、問題集の答えを丸写ししたり、違うページの問題を解いたり…。先生方は無理な要求をしているつもりはありません。普段の学習の取り組みを確認したいから、試験で良い成績をとって欲しいから、そのために必要とされる問題を解くようにと皆さんに伝えているだけなのです。試験後の学習も意味がないとはいいませんし、復習は大切ですが…「**テスト勉強**」は**テスト前に**しましょう。

ノートや問題集にはその人の「姿勢」が表れています。先生方が見れば、その「姿勢」はわかります。皆さんもそのことをわかってください。

